([a]Department of Biology, Osaka City University, Sugimoto, Osaka, 558 JAPAN; [b]Department of Biology, Osaka University, Toyonaka, 560 JAPAN; [c]Department of Chemistry, Nihon University, Funahashi, 274 JAPAN; [d]Chengdu Institute of Biology, Academia Sinica, Chengdu, Sichuan, CHINA; [e]Laboratory of Botany, Kinki University, Uchita, Wakayama, 649-64 JAPAN)

新 刊

□小野幹雄：**孤島の生物たち－ガラパゴスと小笠原** 239 pp. 1994. 岩波新書. ¥650.

海洋島小笠原とガラパゴスを永年研究してきた著者が，そこで起こっている生物の盛衰を物語る．文章はなめらかで読みやすい．本土から遠くへだたった離島への非海岸性陸上植物の到達は，風か鳥によるものが多いわけだが，きわめて偶然性が高いのでフロラのバランスが悪く，生態的空白に進出することで適応放散がおこることが，多くの実例で示されている．とくに小笠原での研究や観察に基づく話は，われわれも身近なこととして頭に入りやすい．ペルーの砂漠の中のお花畑ロマスを孤島と位置づけ，その消長を地球規模のエルニーニョ現象と関連させたスケールの大きな話もある．今後の研究に期待したい．植物だけでなく動物の話もたくさん取り込んで，孤島の生物相ばかりでなく，生物多様性の重要性や自然保護の必要性を，一般の人達にも理解しやすく物語っている．なお絶滅危惧種という単語は，著者の発案になるということを知った． （金井弘夫）

□神奈川県植物誌調査会：**籾山泰一先生論文集～卒寿記念～** 293pp. 1994. 同会. ¥3,000（送料とも）.

本年卒寿をむかえられた籾山泰一氏の記念出版である．籾山氏は太平洋戦争の前後に資源科学研究所に勤務されたほかは，いわゆる研究機関には所属せず，自由な立場で独自の研鑽を進められた．とは言っても殻にとじこもるわけではなく，東京大学や都立大学の依頼に応じて標本整理を支援され，誰にもへだてなくその蘊蓄を披露された．これは神奈川県立博物館でも同様だったときく．あのナフタリン臭い標本室へ，しかも暖房なしの冬場でも，ほとんど一日中とじこもって仕事をしておられたのを記憶している．はじめの4頁に履歴，採集地が簡単に記録されている．続く6ページは思い出話しで，二子の谷のこと，サクラバハンノキのこと，資源研のことなどが独特の語りくちのまま写しとられている．著作目録には単著87点，共著6点，分担執筆6点がリストされ，氏の発表した植物名のリストが続く．以降が論文集の本体で，作品のほとんどが採録されている．ただ原著の組版の関係で，頁づけが途中で反転しており，やむをえないことだがまごつされる．表舞台に出ようとしない碩学の作品を，一挙に目にすることができるようにして下さった編集委員の労を多とする．入手希望者は神奈川県立博物館の新しい住所である次記へ．250 小田原氏入生田 499. 神奈川県立生命の星・地球博物館． 田中徳久（Tel 0465－21－1515 Fax 0465－23－8846). （金井弘夫）

□松沢篤郎：**渡良瀬川支流山塊の高等植物――類似植物の見分け方ハンドブック** 178 pp. 自費出版. 1994. ¥2,000（送料とも).

著者はさきにこの地域の植物誌を刊行しているが，野外で類似植物を同定するためにその中から561種類を抜き出し，12.5×18.5 cm と小型にし，記述もその目的以外は省略してある．本文は科別にまとめ，植物和名のみの見出しの下に，判別点を太字で示している．産地は詳しく，記録年月日と共に記されていて，植物分布の変遷をたどるための配慮がなされているのだが，普通な植物では省略されているのは惜しい．同定を目的とする著書によく出てくる検索表はない．スミレ属については所産のすべての種について，一覧表形式の同定表がつけられている．一覧表式同定表は作るのが大変だが，今後他の植物群についても是非作ってほしい．最初に誰かがつくれば，それを基に追随する人が出るにちがいない．本書にはモクレン，イチヤクソウ，キキョウ，オオバコなどの科はまだ収録されていないので，続編を期待したい．そのときには，科の同定もできるような工夫をしていただきたい．初心者にとって，「どの頁を開くか」ということが最も悩む点だからである．入手希望者は著者へ直接連絡されたい．住所は（374 館林市[illegible] 電話[illegible]）である． （金井弘夫）